

PFAS含有情報伝達のお願い

2025年9月
富士フイルム株式会社
ESG推進部
環境・品質マネジメント部

目次

1. PFAS含有情報伝達の背景と目的	· · · · · 3
2. 情報伝達をお願いするPFAS	· · · · · 4
3. chemSHERPAでの情報伝達	· · · · · 5
4. 情報伝達の内容	· · · · · 6
5. PFASに該当するSN番号	· · · · · 7
6. 情報伝達の具体的な内容	· · · · · 8
7. chemSHERPA-AIでのPFAS情報入力のフローチャート	· · · · · 9
8. chemSHERPA-AIでの入力手順	· · · · · 10

1. PFAS含有情報伝達の背景と目的

- 米国メイン州にて2021年にPFAS汚染防止法が成立し、2025年1月1日より、意図的に添加されたPFASを含む製品の事業者は当局への報告が義務付けられ、ミネソタ州やニューメキシコ州でも同様に当局への報告を義務付ける法案が成立しました。
- PFAS規制は、米国メイン州をはじめ、米国各州、EU等で検討されています。
- 米国各州への報告義務、及びEU等の含有規制に対応する為に、製品に含まれるPFASに関する情報伝達が必要です。

2. 情報伝達をお願いするPFAS

- PFASの化学構造は、米国メイン州、EU REACH規則、米国TSCAでそれぞれ定義していますが、現時点では米国メイン州の定義が最も広義なPFASの定義です。

メイン州のPFAS定義 (PFAS汚染防止法)

少なくとも1つの完全にフッ素化された炭素原子を含む有機フッ素化合物

依頼事項：上記定義に該当するPFASについて情報伝達してください。

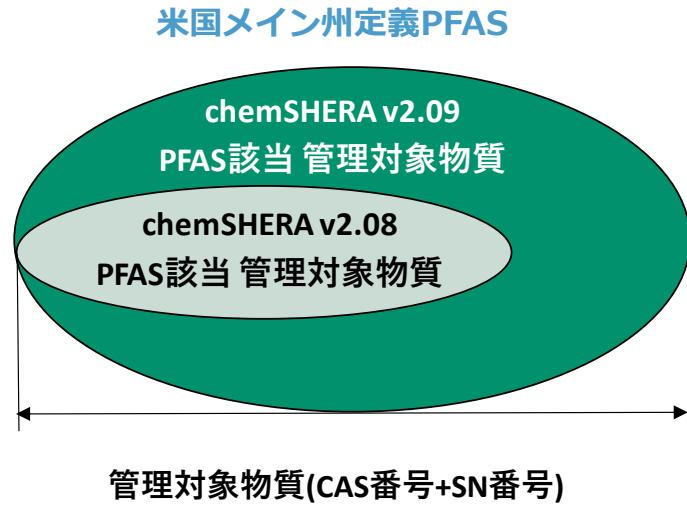
本資料では、chemSHERPAによるPFAS情報伝達について説明します。

3. chemSHERPAでの情報伝達

- chemSHERPAは、既にEU REACH規則やPOPs規則で規制されているPFAS、及びIEC62474とGADSLの業界標準で情報伝達対象物質としているPFASを管理対象物質としています。
- chemSHERPA ver2.09よりSN1050(※)が追加され、メイン州の定義のPFASが管理対象物質に包含されることになりました。

※ SN1050 : PFAS化合物、ただし、SN0035,SN0036,SN0090,SN0098,SN0100,SN0102,SN0103,SN0104,SN1039,SN1040,SN1041,SN1042,SN1044,SN1049,SN1051,SN1052,SN1058,SN1059,SN1090及びSN1091 を除く

chemSHERPA管理対象基準の法令、業界標準	
LR01	化審法 (第一種特定化学物質)
LR02	US TSCA (使用禁止または制限の対象物質 (第6条))
LR03	EU ELV指令
LR04	EU RoHS指令 ANNEX II
LR05	EU POPs規則 ANNEX I
	EU REACH
LR06	認可対象候補物質 SVHC 認可対象物質 ANNEX XVI
LR07	EU REACH 制限対象物質 ANNEX XVII
LR08	EU 医療機器規則 (MDR)
LR09	China-RoHS指令
IC01	GADSL (自動車業界)
IC02	IEC62474 (電気電子業界)



4. 情報伝達の内容

注意：PFASに該当する場合、任意報告物質として報告をしないでください。
(任意報告欄に“□”を入れず下記に従い報告ください。)

- chemSHERPAによるPFASの情報伝達は、全て管理対象物質として情報伝達をお願いします。
- 以下のchemSHERPAのルールに従って情報を入力してください。

成分情報画面にて、該当するCAS番号を選択してください。該当するCAS番号が選択肢に無い場合は次ページのPFASに該当するSN番号の一覧表を参照し、該当するSN番号を選択してください。SN番号を選択した場合は、コメント欄にCAS番号を記入してください。

chemSHERPAへのPFAS情報入力内容

情報伝達をお願いするPFAS	物質情報	追加情報
米国メイン州 PFAS汚染防止法 の対象物質	CAS番号 and/or SN番号	・ SN番号を選択した場合は、物質のコメント欄に CAS番号を記入する

5. PFASに該当するSN番号

- chemSHERPA管理対象物質のPFAS化合物群とSN番号

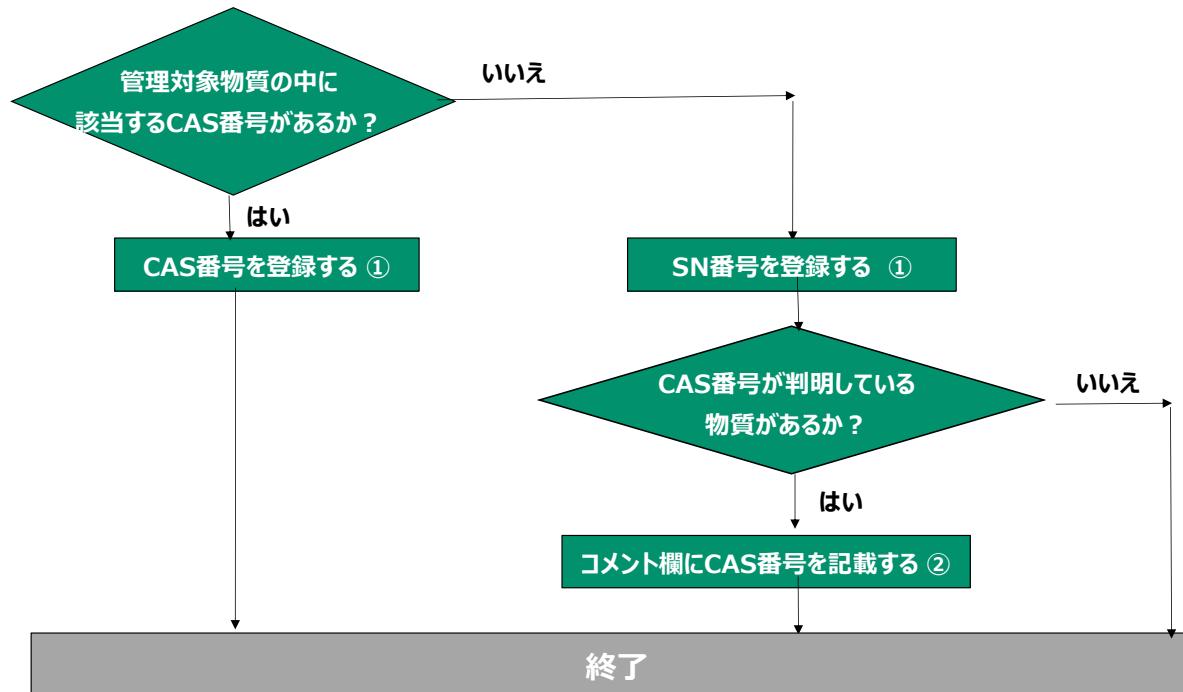
- ・前ページにてSN番号を指定する際に、このリストから選んでください。
- ・JAMP資料 (Explanation_of_chemSHERPA_Declarable_Substances_Ver2.12.00rev_JP.pdf) に準拠して作成しています。

6. 情報伝達の具体的方法

- ここまでご説明した、chemSHERPAでのPFAS含有情報伝達方法を、次ページ以降にフローチャートと実際のchemSHERPA-AIで示します。

7. chemSHERPA-AIでのPFAS情報入力のフローチャート

注意：PFASに該当する場合、任意報告物質として報告をしないでください。
(任意報告欄に“”を入れず下記に従い報告ください。)



8. chemSHERPA-AIでの入力手順

【管理対象物質の場合】

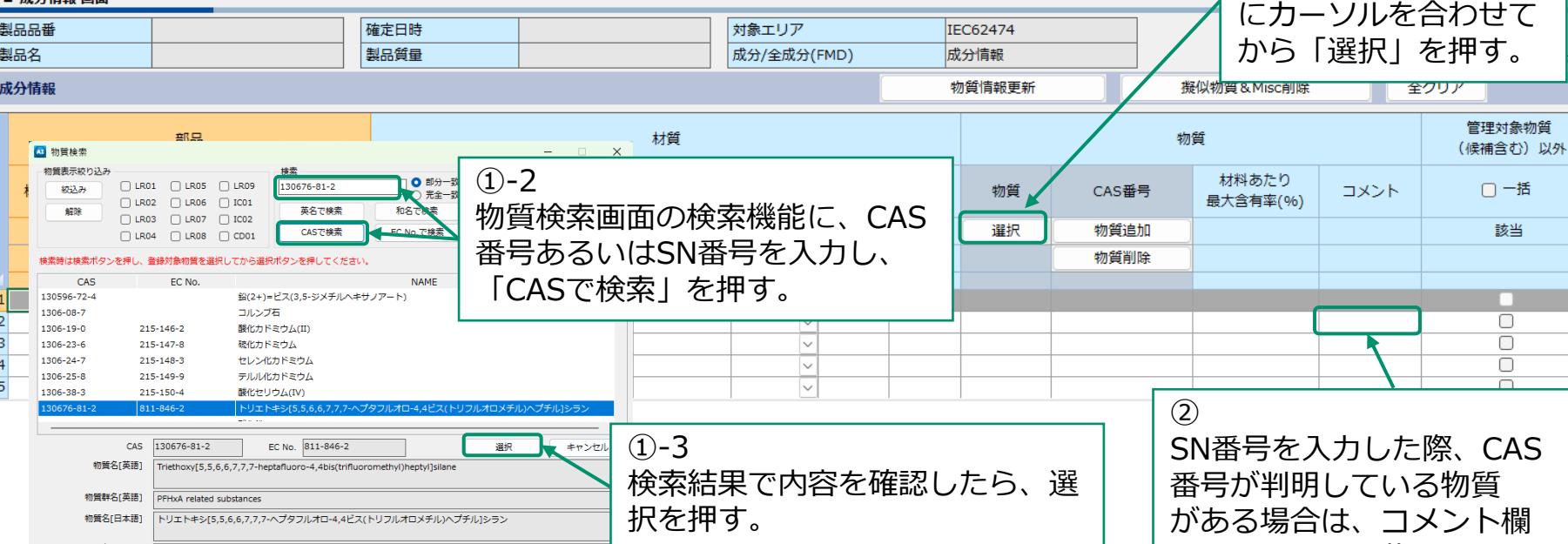
chemSHERPA-AI 成分情報画面でのCAS番号、SN番号、コメントの入力手順

①-1 物質を入力したいセルにカーソルを合わせてから「選択」を押す。

② 物質検索画面の検索機能に、CAS番号あるいはSN番号を入力し、「CASTで検索」を押す。

③ 検索結果で内容を確認したら、選択を押す。

④ SN番号を入力した際、CAS番号が判明している物質がある場合は、コメント欄にCAS番号を記載する。



お問合せ先

**富士フィルム株式会社
ESG推進部 環境・品質マネジメント部**

グリーン調達基準担当
Email. FF_Green_Procurement@fujifilm.com

FUJIFILM
Value from Innovation